

# 江差町立南が丘小学校



## かけはし

【本年度の重点教育目標】

『豊かな心の育成 礼儀正しさ・思いやり・粘り強さ』

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

「礼儀正しさ」とは

南が丘小学校校長 安田 善紀

6月は暦では夏であり、次第に暑さを感じる日が増えてきました。学校では昨年設置していただいたエアコンが稼働し、熱中症対策に気を配る毎日です。

令和7年度始業式（4月7日）に今年度の重点目標について子ども達に右の写真を使って説明しました。学校だより4月号でもふれましたので、今回は項目1の「礼儀正しさ」について書きます。

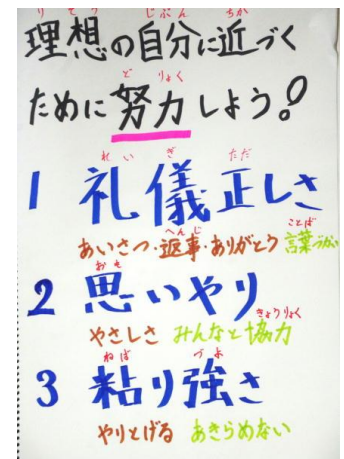
本校児童に取り組んで身につけてほしい内容として、【挨拶・返事・感謝】と【言葉づかい】の2点について説明しました。子ども達には機会ある度に「学校は、将来大人になって社会に出た時に自分の力で生きていけるよう、必要な力を身につけ修行する所です」と話しています。社会人として必須スキルだと思います。

【挨拶・返事・感謝】については、昨年度から重点として取り組むよう子ども達に話し続けました。運動会でも徒競走や個人種目の際、本部テントで賞状をもらいますが、授与してくださるPTA役員のお父さん方にしっかり礼をし受け取って、「ありがとうございます」を全員が言えるよう取り組みました。また、地域の方からは、「様々な場面で『おはようございます』『こんにちは』の挨拶ができるようになりましたね」とお褒めの言葉を寄せられるようになりました。嬉しい限りです。

もう一つの【言葉づかい】については、まだ課題があります。学校生活においてそう多くはないのですが、授業以外の休み時間や放課後において相手を傷つける言動を見ることがあります。引き続き取り組んでまいります。

そもそも「礼儀」とは、人間関係や社会の秩序を維持するために人が守るべき行動様式のこと。特に、敬意を表す作法とされます。つまり、人に対する「尊敬」の意味が込められたものといえるでしょう。「相手を尊重する」ということを大切に、時と場合に応じた対応ができるようにしたいものです。

最後に「礼儀正しい」人の特徴5選を紹介します。



- |                 |   |                       |
|-----------------|---|-----------------------|
| 1 お礼や挨拶がしっかり言える | → | 心を込めて自然に感謝の言葉が出ると良し   |
| 2 正しい言葉づかいができる  | → | 相手に敬意を表す最たる例です        |
| 3 適度な距離感がわかっている | → | 集団生活には「空気を読む」ことも重要    |
| 4 落ち着きがある       | → | 感情をコントロールすると冷静な対応ができる |
| 5 相手の立場になって考える  | → | 自分の考えと相手の立場や考えとの調整が必須 |

## 最後まで全力でがんばりました

児童会が全校の意見をまとめて作った運動会のスローガン「42人の全力～あきらめずに元気よくがんばろう～」。そのスローガンどおり、子どもたちは勝ち負けだけにこだわらず、自分たちの全力を出し切って取り組む姿勢が見られました。6年生が先頭に立って応援団や係活動に取り組み、全校を引っ張る姿に成長を感じました。保護者・地域の方々から子どもたちに温かい拍手やご声援をいただきました。ありがとうございました。



「全校綱引き」では、どちらが勝つか最後までわからない大接戦でした。



（左）「全校リレー」で最後まで全力で走る6年生のアンカー、蓮人さんに大きな拍手が送られました。（中）地域の皆さんと一緒に大きな輪となって踊った「餃踊り」。（右）「80m走」で力いっぱい走る1年生たち。

## 小小連携の取組

江差小、江差北小の子どもたちと、同学年どうしの交流学习を進めています。各学年が年間で体育1回（低学年体育交流会、高学年球技交流会）、その他授業1回（江中校区トライアングルサポート、通称トラサポ）の

計2回を予定しています。2校、3校で子どもが集まると、多くの人数で活動できるので、ふだんとは違った学習や体験ができます。他校の子どもたちとの交流ができる貴重な機会でもあります。このような交流学习でたくさんの経験を重ねて、心豊かにたくましく成長してほしいと考えています。



江差小で理科の学習をする4年生。楽しく仲良く実験できました。



6年生は江差小で図工の学習をしました。協力してできました。



1年生は江差北小で体育の学習。たくさん運動しました。

## いじめ防止の取組

今月、児童にアンケートを行った結果、「4月から今までに、悪口やたたかれるなど、嫌な思いをしたことがある」と答えた子どもが14人（33%）いました。学校では、この状況を重く受け止め、全職員でいじめ防止に取り組んでいます。校内対策委員会（校長・教頭・生徒指導担当・担任・養護教諭）と全職員による職員会議で、この問題について対策を考えています。保護者の皆様には個人面談等で担任と相談をしながら、いじめ防止に取り組んでいきますのでご協力お願いいたします。